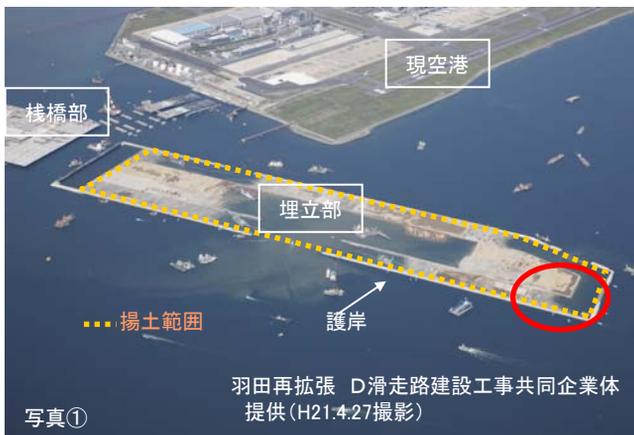




埋立部	栈橋部
接続部	連誘部
環境	その他
工種名:揚土工	

前回※1の現場日記では揚土工の施工方法についてレポートしました。今回は、この施工のサポートに従事している重機や機器、設備についてレポートします。また、最新の現場状況をお伝えします。※1 H21.4.17「揚土（埋立部）の本格化」（📍 前回の日記へは[コチラ](#)をクリック）



写真⑥
砂塵の発生を防ぐために散水車を走らせています。

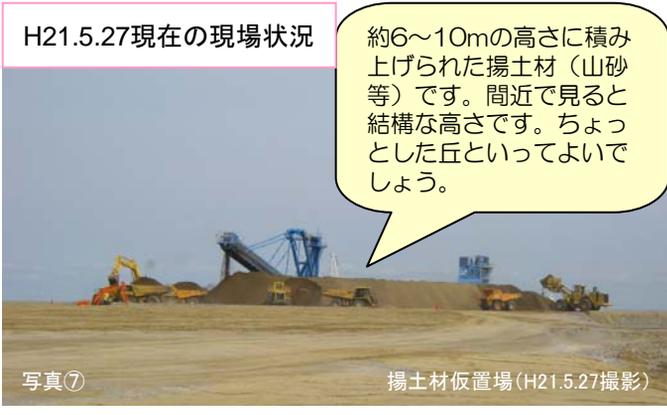
この散水車は30,000Lも積めるとか・・・スケールが大きいですね。



タンクローリー車を囲むように防油堤を設置。オイル漏れはあってはなりません。



写真⑤
給油設備には、万が一のオイル漏れに対処するため、防油シートと防油堤を設置、更に、落雷による事故を防ぐため避雷針を設置しています。（もちろん安全性については消防署の検査を受けています）



写真②③
揚土した山砂を転圧する振動ローラにGPSアンテナとパソコンが搭載されており、自機の走行軌跡と所定の転圧回数をリアルタイムに確認しながら施工することができます。

写真④
現場事務所では稼働している重機全体の状況を確認することができます。

写真⑦は、写真①の赤丸で囲った区域を撮影したものです。1ヶ月間の短期間で陸地が形成されたことがよくわかります。